

## 2. 実践研究のねらい

塔南高校では、全国で初めて設置した教員養成系専門学科教育みらい科における小学校現場実習をはじめ、地域図書館や小学校でのボランティア活動、地域清掃活動等、現在実施している地域と連携した活動を充実させ、さらに未来を創る担い手である生徒が、自らの学びと社会をつなぐ地域課題探究活動を展開していく。

そのために、従来の学校の枠組みや教員の発想を超えた取組を社会ニーズに沿って実施し、また地域の方や大学・企業等の力を活かせるしくみや、そうした力の安定的な確保も行うことができる専門のコーディネータを核とする教育支援組織（サポートボード）としての学校運営協議会の在り方を研究する。

研究過程において、塔南高校教職員が研究協議会へ参画することにより、教職員の意識改革を図りたい。

また、市立高校における学校運営協議会の果たす役割や運営方法、学校・家庭・地域の連携協働体制構築に関するモデルプランを作成する。